

令和7年3月3日
国土交通省関東地方整備局
営繕部

工事発注手続きについて

～「気象研究所（25）電気設備改修工事」の発注手続きを行います～

関東地方整備局営繕部発注の「気象研究所（25）電気設備改修工事」において、不調・不落対策を試行、採用します。

工事発注において予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予想される工事について、不調・不落対策を試行、採用しています。

今回発注する「気象研究所（25）電気設備改修工事」については、以下のとおり不調・不落対策を試行、採用します。

【不調・不落対策】

1. 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）企業実績評価型
2. 競争参加資格の緩和
3. 見積活用方式

※詳細は次頁をご覧ください。

<発表記者クラブ>

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 茨城県政記者クラブ 栃木県政記者クラブ
埼玉県政記者クラブ 千葉県政記者会

<問い合わせ先>

国土交通省関東地方整備局 営繕部

電話：048-601-3151 FAX：048-600-1395

技術・評価課 課長 中間（なかま）（内線5451）

《工事概要》

- (1) 工 事 名：気象研究所（25）電気設備改修工事
- (2) 工事場所：茨城県つくば市長峰1-1
- (3) 工 期：契約締結の翌日から令和8年6月30日まで
- (4) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）企業実績評価型
- (5) 工事種別：電気設備工事 B等級又はA等級
- (6) 工事内容（概要）：本館、その他15棟
電灯設備、情報表示設備、拡声設備、火災報知設備、
構内通信線路 改設一式



本館外観



火報受信機（左側）、 拡声設備（右側）

《不調・不落対策》

1. 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）企業実績評価型

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について、試行するものです。

特徴は次のとおりです。なお、公共工事の実績のない企業でも参加しやすい方式となっています。

- 1) 競争参加時に配置予定技術者の申請は不要です。
(参加要件として配置予定技術者の工事経験の設定はありません。)
- 2) 総合評価における加算点の評価対象は、企業における防災に係る取組姿勢、同種工事の施工実績（**民間工事を含む**）、本発注工事の工事種別における新規契約の有無及び賃上げの実施を加算点としています。
- 3) 過去の工事成績や表彰実績、配置予定技術者の技術力は評価対象としません。

2. 競争参加資格の緩和

1) 地域要件の拡大

工事場所等の地理的条件を勘案し、競争参加資格の地域要件を、「茨城県内」に建設業法に基づく本店、支店又は営業所を有する企業から「関東地方整備局管内」に建設業法に基づく本店、支店又は営業所を有する企業に拡大します。

2) 対象等級の拡大

競争参加者数が少数と見込まれることから、対象等級を B 等級から B 等級又は A 等級に拡大します。

3) 企業に求める施工実績の緩和

企業に求める施工実績（民間工事を含む）は、「火災報知設備（同一工事において、受信機、感知器及び配線の施工を含むものに限る。）の更新」に限定せず、「火災報知設備（同一工事において、受信機、感知器及び配線の施工を含むものに限る。）の更新又は新設」として緩和をします。

3. 見積活用方式

○見積の提出を求める工種

直接工事費のうち、「作業床高さ 6.2m 以上の枠組棚足場」

○見積の提出を求める理由

公共建築工事積算基準類に基づく価格と実勢価格に乖離が生じていると考えられるため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。

《発注スケジュール》

- | | |
|----------------------|---------------------|
| ○入札公示、入札説明書、見積依頼書の交付 | ：令和 7 年 3 月 3 日（月） |
| ○技術資料等の提出期限 | ：令和 7 年 3 月 17 日（月） |
| ○入札書、工事費内訳書の提出期限 | ：令和 7 年 5 月 13 日（火） |
| ○開札日 | ：令和 7 年 5 月 16 日（金） |

《入札情報サービス（P P I）》

P P I

(<https://www.i-ppi.jp/IPPI/SearchServices/Web/Search/Search/Search.aspx?tab=3>)

- ① 工事名（文字列検索）に「気象研究所」を入力
- ② 公告日を「●期間指定 2025 年 3 月 3 日」に指定⇒「検索開始」をクリック

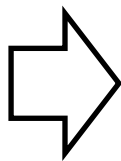
公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式・企業実績評価型)の試行について

【メリット】

- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ **総合評価落札方式・企業実績評価型**
→企業における防災に係る取組姿勢と施工実績(民間工事を含む)等を評価

公示

(工事内容・入札時期・落札方式等)



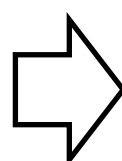
工事参加希望の意思確認・技術資料の提出

(参加意思表明申請書+必要資料の提出)



参加要件は企業とし、
技術者要件は求めない

指名基準による選定



発注(指名通知)

以降は指名競争・総合評価
落札方式の手続き



指名競争・総合評価落札方式により落札決定

(標準点100点+加算点(11点)+施工体制
評価点(30点))÷入札価格=評価値
※加算点は企業における防災に係る取組
姿勢と施工実績等+質上げの実施
に関する評価

公募による企業の参加

公募結果に基づく指名

防災に係る取組姿勢と
施工実績(民間工事を含む)等を評価